

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3
学科	全	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ (三省堂)				
副教材など	整理と演習 完成ワーク 英語(増進堂)				

## 1. 科目の目的

国際化社会において、実践的コミュニケーション能力が求められている。英語コミュニケーションⅡでは、更に高度な学習内容への円滑な移行を考慮しながら、「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の5領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を向上させることを目指す。また英文を通して国際的問題について考え、異文化への理解を深めるとともに、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

## 2. 授業の内容と進め方

- ・コミュニケーション活動に必要な発展的な文型や文法事項などを学習し、情報や書き手の意向を理解できる力を身につけ、活用できるようにする。
- ・まとまりのある文章を音読、暗唱したりして、リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴を理解し音読、暗唱できる
- ・1年次で学習した語に、700語程度の新語を加える。また、一般性が高く、使用頻度の高い熟語や慣用句を学習し、実際に活用できるようになる。
- ・学習した内容に関連する題材に対して、論理的に自分の意見をまとめ、英語で表現(話す・書く)できるようになる。

## 3. 学習する上での留意点

- ・日頃より授業用ファイルを作成し、プリント類の整理をするなど自主学習に努める。
- ・課題等提出物は、指示された通りに完成させ、期限内に提出する。
- ・新出単語は必ず辞書を引き、発音や語法など正確な表現の理解に努める。
- ・授業においては、すすんで発言し、積極的に学習活動へ参加する。
- ・日頃から、挨拶などの日常的な会話表現を使い、コミュニケーション能力の向上に努める。
- ・単語や文法の習得のため自学ノートや訂正ノートを積極的に活用し、学習の定着に努める。

## 4. 課題等について

- ・授業中や長期休業中、定期考査後など、必要に応じて課題が出されるので、期限に遅れないように提出する。

## 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

## 6. 評価の方法

- 1)定期考査(1年間に5回実施され、その結果をもとに学習の内容の理解度、定着度を測る)
- 2)パフォーマンステストの成績
- 3)授業への取り組み(発表、学習活動に対する意欲、出席状況)
- 4)授業時の課題の提出(授業への取り組みと整理の状況把握)

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等	
一 学 期	4	Lesson 6 Smart Agriculture	<p>〈主な言語材料:have been done / wil be done〉</p> <p>日本の農業が抱える様々な課題を解決する手段となる「スマート農業」について知る。</p>	<p>定期考査及び課題・小テスト・実力テスト・授業中の活動等の取り組み状況をもって評価する。</p>	
	5				
	6	Lesson 7 A Martial Art on Tatami	<p>〈主な言語材料:関係代名詞の非制限用法・関係代名詞what〉</p> <p>「競技かるた」の世界とその魅力について知る。</p>		
	7				
	プリント				
	二	10	Lesson 8 Biologging		<p>〈主な言語材料:分詞構文・強調構文〉</p> <p>直接見ることができない動植物の行動や生態を記録し、環境変化の予測にも役立つ先進技術「バイオリギング」について知る。</p>
	11				
12		ENJOY READING The Restaurant of Many Orders	<p>宮沢賢治「注文の多い料理店」</p> <p>狩りに出かけた2人の若い紳士が山奥で道に迷ったときに見つけた立派なレストラン。空腹の彼らが入る、そこには……。詩人で童話作家の宮沢賢治による不思議な物語。</p>		
三 学 期	1				
	2				
	3				